

第7回全国高専テクノフォーラムに参加

平成21年8月5日(木)～6日(金)に香川県高松市において第7回全国高専テクノフォーラムが開催され、全国各地から300名超の参加がありました。本校からは、片桐地域共同テクノセンター長を始めとして4名の教職員が参加しました。

第1日目は、小田国立高専機構理事、神原日亜化学部長(株)第二部門開発本部本部長付、上治高知県馬路村村長による基調講演と、全体パネル討論、産官学交流会が行われました。特に「今後10年間に高専が果たす役割—教育・研究・新しい地域連携—」をテーマにした全体パネル討論では、フロアからも活発な意見が交わされ、白熱した討議が行われました。

第2日目は、物質工学科 菅原教授が「農工・産学連携による生理的機能性を有する新形質米食品開発」について、物質工学科 荒木准教授が「めっきプロセスを用いたCZTS系薄膜太陽電池の開発」について口頭事例発表を行いました。その後のポスター展示コアタイムには、本校のブースへ質問に訪れた人が、熱心に説明を聞く姿が見られました。



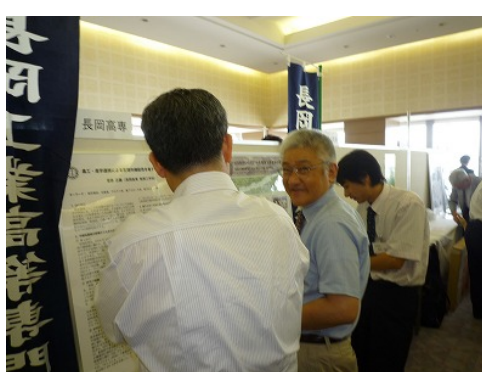
長岡高専ポスター展示会場



全体パネル討論



口頭事例発表



ポスター展示コアタイム